

序章. 文明と歴史を考察するに当たって

現象思考学原論で次のように述べた。

——序章——

ユング心理学と現象学を学び始めたことが、以後の私の知識の拡大や知性の充実を促すことになり、色々な近代思想に触れる道を開いてくれた。ユングの心理学と現象学は私の思考回路に大きな影響を与えた訳だ。影響の大きかったものの幾つかを拾い上げてみよう。

- ・人間の心には意識の領域と無意識の領域とがある。無意識の領域は意識の領域よりはるかに大きい。
- ・人間の行動は無意識に支配されているものが圧倒的に多い。
- ・無意識の領域に在るものが意識の領域に流れ出すタイミングがある。
- ・一切の先入見を排して事象そのものに迫ろうとする態度、即ち、概念や思弁をもてあそぶことなく、常に事象そのものに密着しようとする姿勢を保つ。
- ・何らかのかたちに体系化された世界の中で現象を解釈するのではなく、生きている自分が直接経験できる世界の中で現象に向き合う。
- ・認識作用に先立つ知覚経験においても意味は産出される。この意味は意味付与という能動的なものではなく、意味発生という受動的なものである。こうした知覚経験のできる世界こそあらゆる意味発生の基盤となっている。

人間の心と行動の在り方や、真理を探求する態度に対するこうした捉え方の影響が、私が生きてきたビジネスの世界で直接向き合うことのできた事象に重なり、私の思考と行動に進歩と変革をもたらしたのであると受け止めている。

——第1章——

こうしたことに対する考えを深める上で大きな力になったのが、現象学とユング心理学だった。単純に言ってしまえば、次の2つの原則を踏まえて考えようと思ったのだ。

- ・一切の先入見から離れて事象そのものに向き合うこと
- ・人間の行動は無意識に支配されているものが圧倒的に多いこと

しかし原論では、無意識に支配されることの多い人間の行動についてはあまり論じていない。そこで、文明と歴史を考察するに当たり、ユング心理学の力を借りて人間の行動と無意識に関する私の考えを述べておこうと思う。

人間の意識の行動への関わり方は、人間の思考と行動との間の関係として、多くの人たちが多くの学問分野で研究を行い、その成果が発表されている。その代表的なものは多くの人々の理解するものとなり、社会的な認識を得ている。

しかし、人間の無意識の行動への関わり方となると、一般的な成果として理解され、社会的な認識を得ているものは未だ無いと言えるだろう。顕在意識と潜在意識という言い方も使われるが、無意識とは、世間一般に言われる潜在意識とは異なるものと言ってもよいだろう。

心理学者のユングは、人間の心を研究する中で、人間の心には意識の領域と無意識の領域があることに気がついた。しかも無意識の領域は意識の領域よりはるかに膨大であり、人間の行動は無意識に支配されるものが多いことにも気づいた。

クライアントの心理を研究する中で、ユングは夢を重要視した。そして無意識の領域にあるものが意識の領域に流れ出したものが夢だと感じ取ったのである。この考えと、人間の行動が無意識に支配されることが多いことを重ね合わせると、正夢というものが現実であり得ることが理解できる。

無意識の領域にあるものが意識の領域に夢という形で流れ出す。一方、無意識の領域にあるものが何らかの人間行動を起こさせる。その行動が、夢に現れたものを実現しようとする可能性が高いのだ。これが実現すれば、その夢は正夢と受け止められることになる。

無意識は、人間が生きている世界の中で人間が知覚するものを、何らかの形で受け止めていると言える。しかし、その受け止められたものは当の人間には意識されないのだ。それは脳の多くの部分に残される表象かもしれない。表象が脳の機能により或る適切なつながり方をすれば、記憶という形で意識されるが、単なる表象である限り意識の領域には現れないのだ。

しかし、無意識の領域に何らかのものが残されている限り、それは人間の行動に影響するだろう。無意識の領域に沈殿しているものがどのようなつながり方をするかによって、人間の行動に与える影響も違ったものになるだろう。

人間が生きる世界からの知覚を通して無意識の領域に沈殿させるものがあるということ、そして、人間の無意識の領域に沈殿したものが何らかのつながり方をして人間の行動を引き出すということ、この二つの無意識の機能がきわめて重要なのだ。

人間は意識を通して世界に働きかけている。だが、無意識を通して世界に働きかけているのだ。世界の中の現象を知覚して意識に取り込み、無意識に何かを沈殿させる。意識を通して世界に働きかけると同時に、無意識に沈殿したものの働きで世界に働きかける。こうした人間の働きを交感と呼ぶ。人間は交感によって世界と結びついていると言える。

本書に展開する文明と歴史についての考察は、以上のようなことを基盤にしている。